

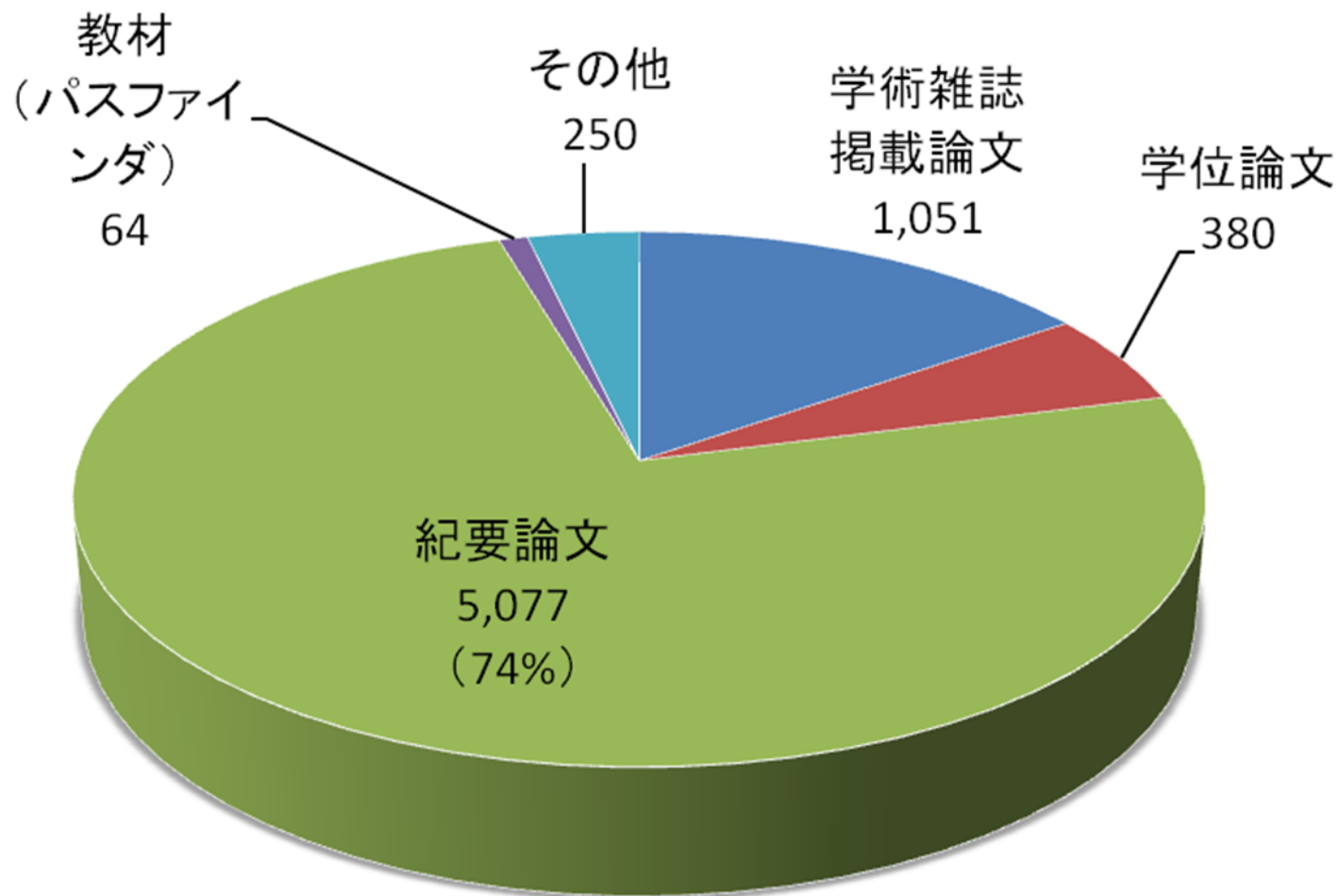
平成19年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系)

平成20年6月12日

コンテンツ種別ごとの利用統計に 見るIRの活用と流通状況 － 名古屋大学の学位論文を例に －

名古屋大学附属図書館
次良丸 章

NAGOYA Repository 登録状況



6, 822件

(2008年4月末現在)

これまでのコンテンツ収集の取組み

- 協力的な教員を組織化し、重点的に働きかけることで、積極的な登録と、口コミによる同僚や所属学会への波及を促している。

研究者協力
コミュニティ

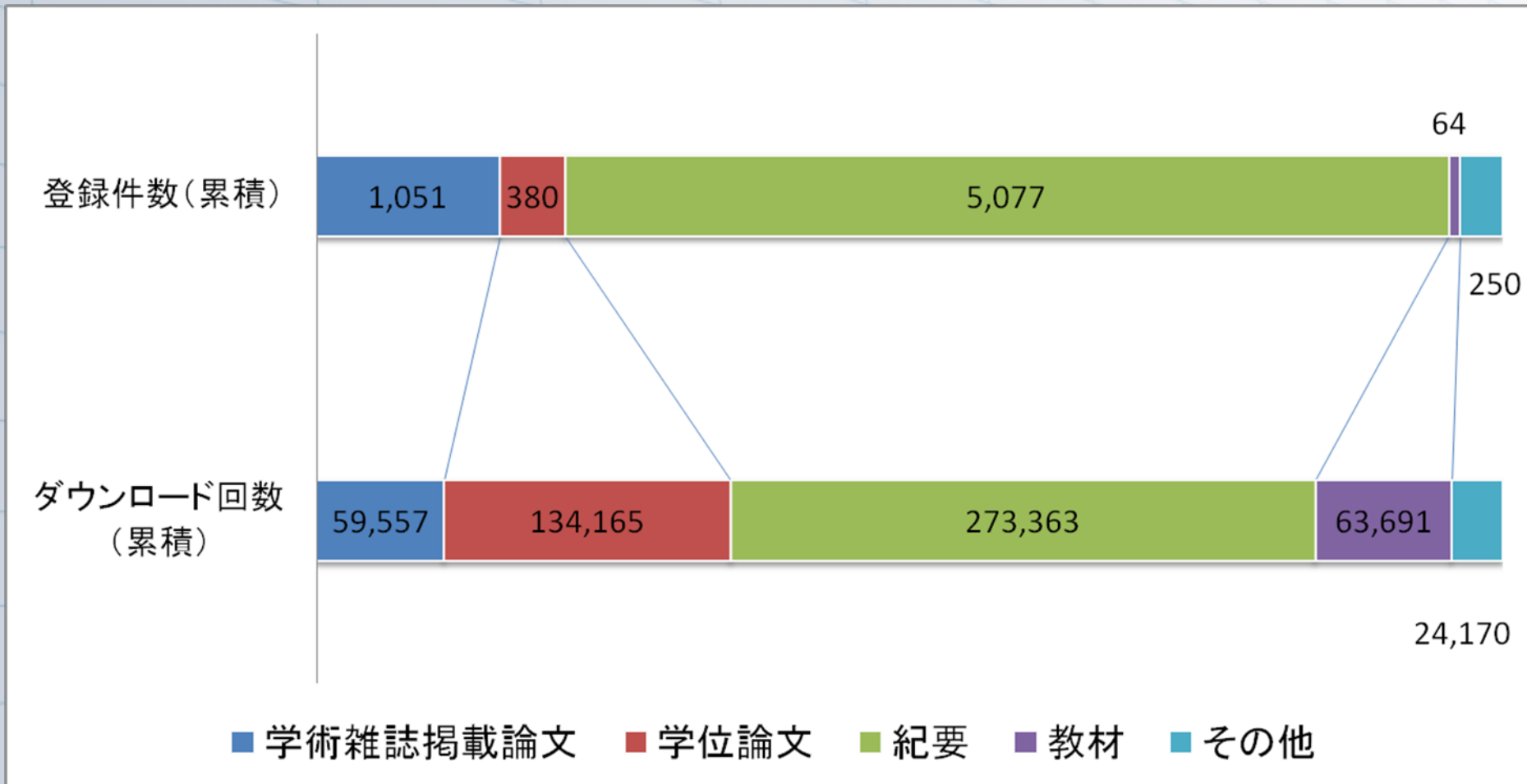
博士学位論文 登録の制度化

- 部局の事情にあわせた制度を検討してもらい、現在までに4研究科で制度化した。

- 編集委員会等と協議し、刊行時の登録について制度を整備した。遡及登録についても順次、協議・実施している。

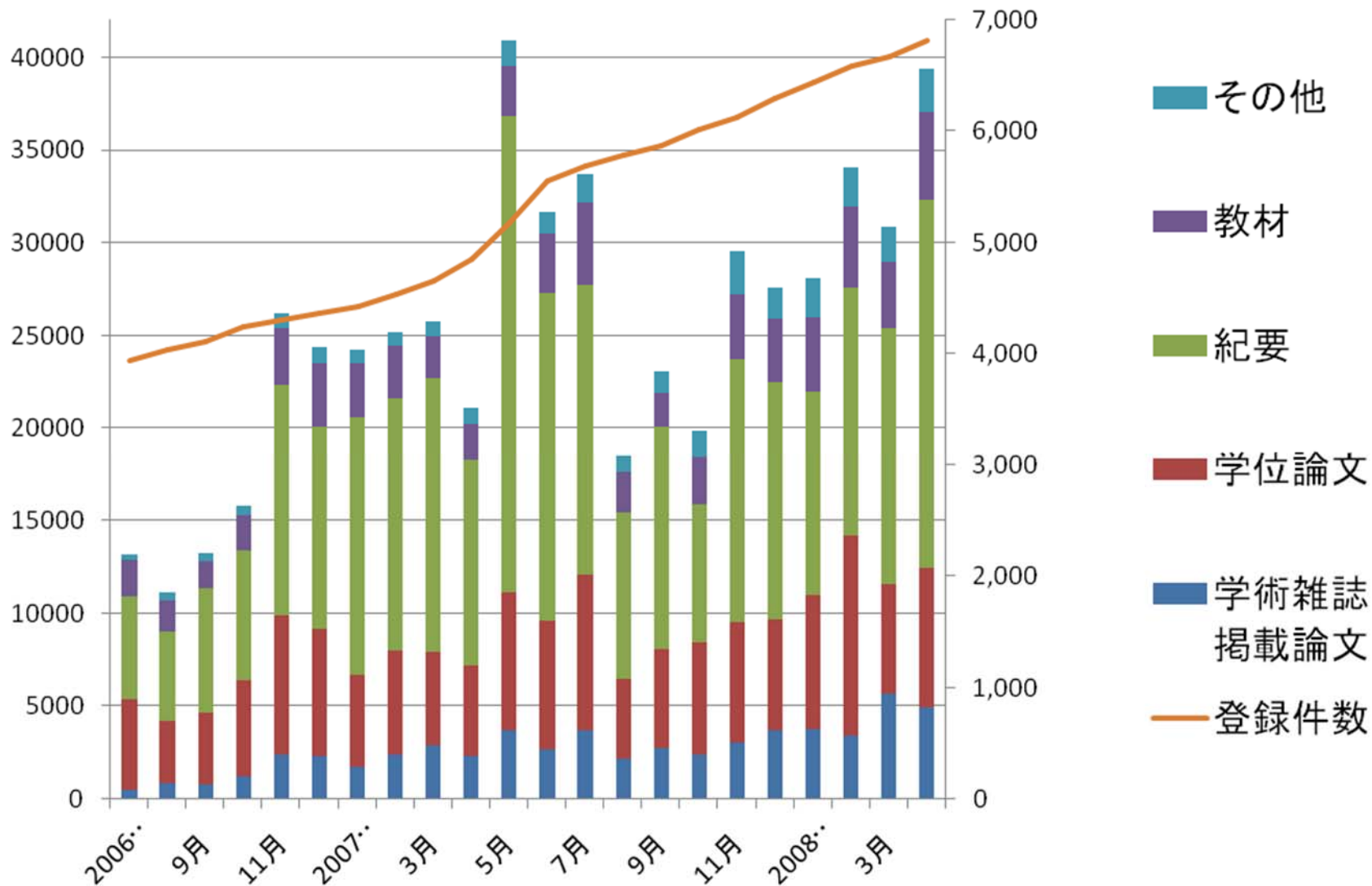
紀要電子化
の推進

登録件数とダウンロード回数



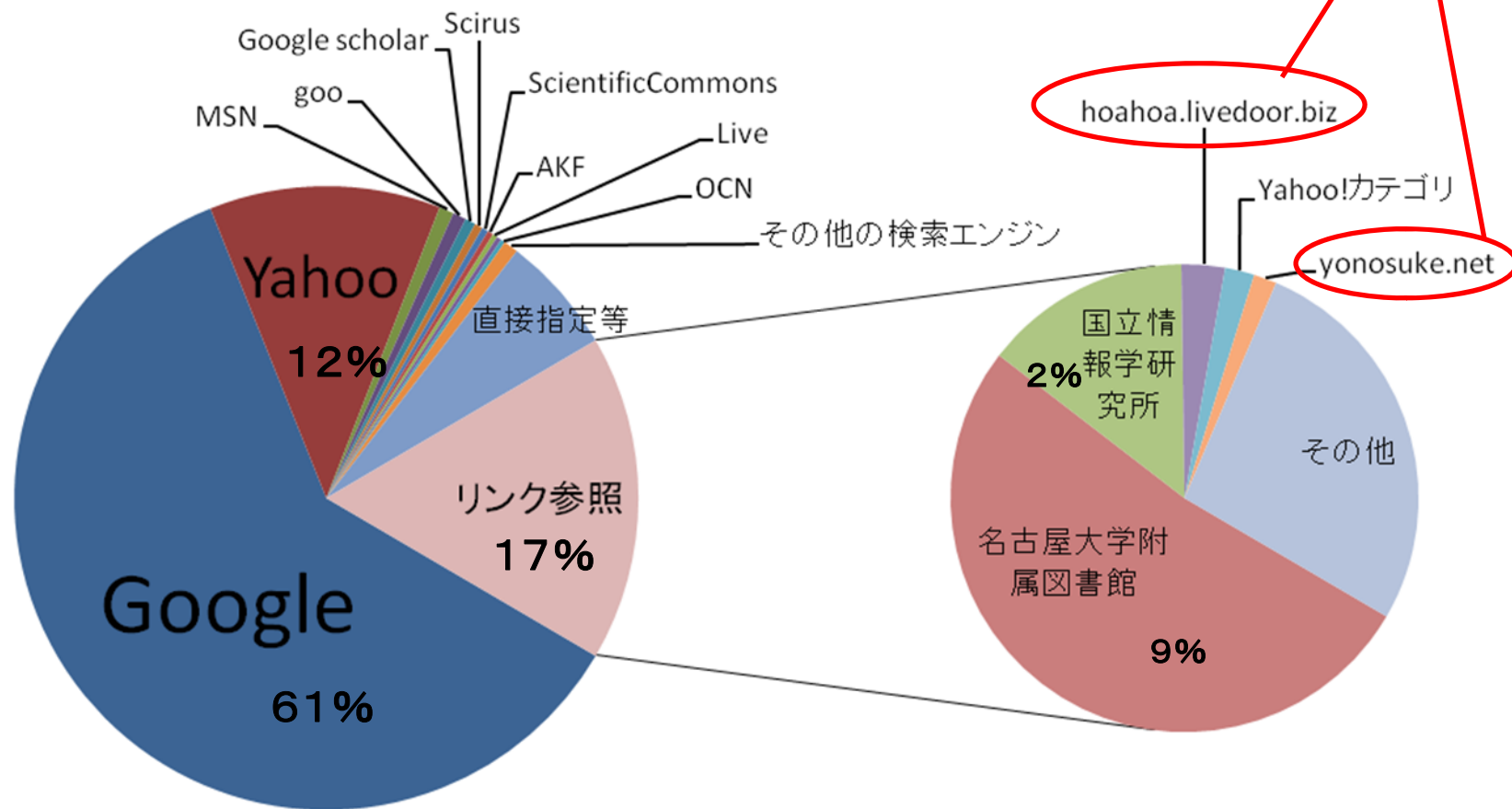
2006年7月～2008年4月(22ヶ月間)

登録件数とダウンロード回数の推移



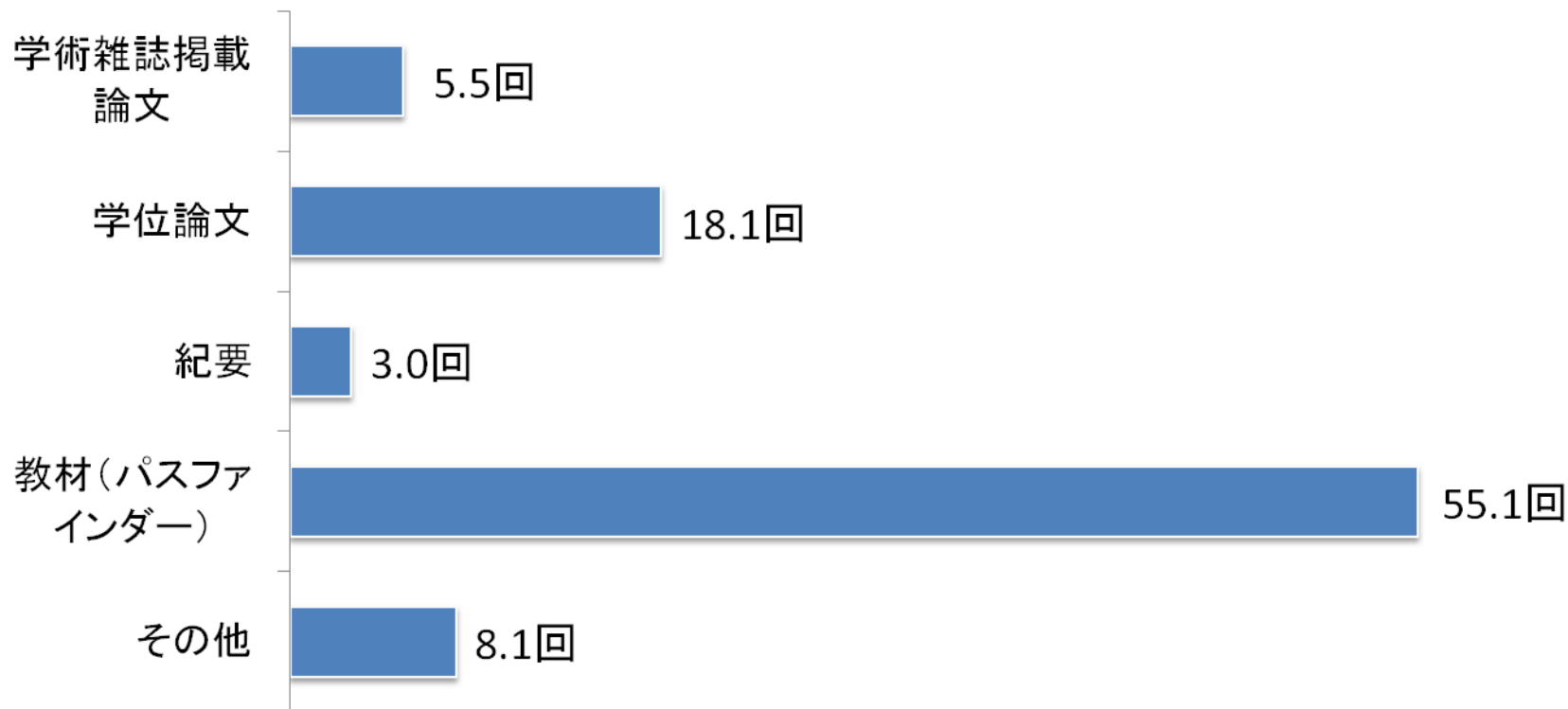
アクセスの経路

著者ブログ

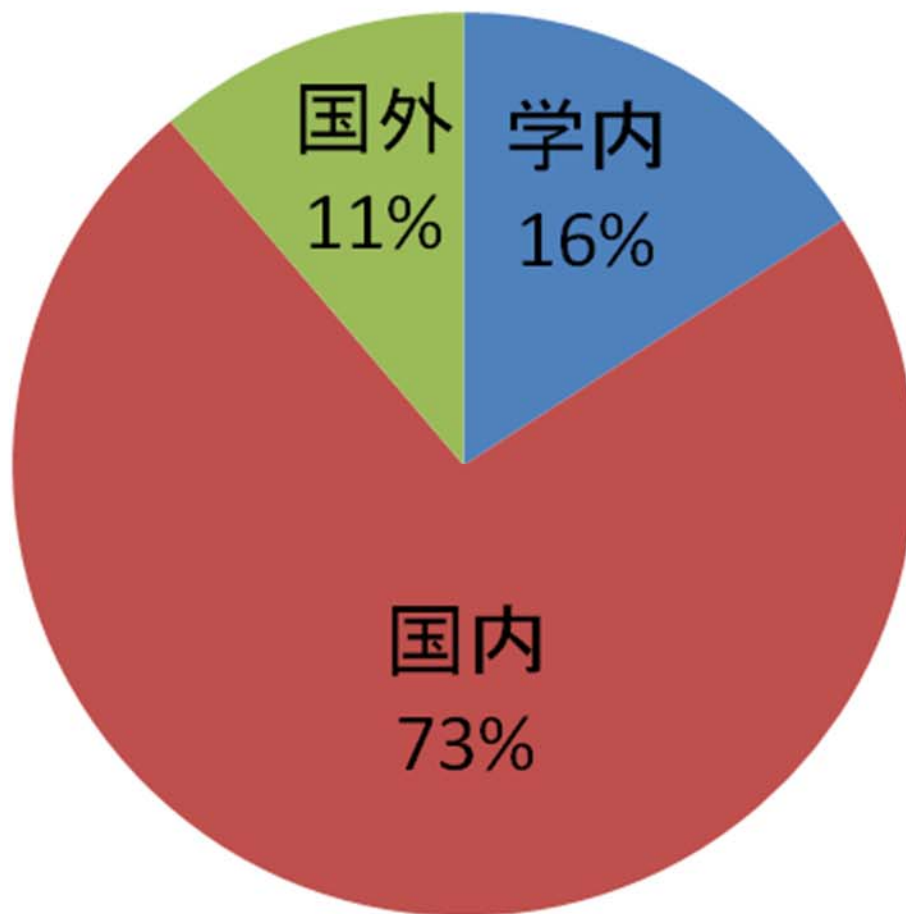


大部分は検索エンジンでのキーワード検索

論文1件の月平均ダウンロード回数



教材（パスファインダー）のアクセス元



累積ダウンロード回数 1000回以上

DL数	タイプ	タイトル	主著者
3488	紀要	高校生球児の野球留学とキャリア形成の諸課題	竹内, 一郎
2634	紀要	熱帯の木材	木方, 洋二
2101	学位論文	薄膜材料のオンチップ引張試験ならびに疲労試験	安藤, 妙子
1774	学位論文	Ni-Cu-SiおよびNi-Cu-Pd三元系合金におけるスピ	村田, 純教
1774	学位論文	水素化アモルファス炭化シリコン膜の構造と電気的特性	田畑, 彰守
1571	学位論文	精密構造認識に基づくアントシアニンの分子会合	吉田, 久美
1519	紀要	学校卒業者の公共職業訓練と修了後の進路	田中, 萬年
1507	学位論文	土壌フルボ酸の化学的研究	渡邊, 彰
1481	紀要	名古屋大学医学部から博物館へ移管されたムラージュ標本の一覧	西田, 佐知子
1366	学位論文	乱流境界層のフラクタル特性に関する研究	辻, 義之
1365	学位論文	Patterning of TiO ₂ Thin Films	Masuda, Yoshitake
1311	学位論文	丸のこの振動に関する研究	横地, 秀行
1228	学位論文	遠心形ターボ機械羽根車内の圧力変動に関する研究	長谷川, 豊
1202	学術雑誌掲載論文	エンドユーザーのWeb探索行動	種市, 淳子
1191	学位論文	ポーラー・バーク型インヒビターの結晶構造と機能の研究	鈴木, 淳巨
1176	学位論文	システムの受動性に関する研究	坂本, 登
1173	学位論文	流体構造連成法に基づくフラッタ現象の数値解析	橋本, 敦
1153	学位論文	資源循環における有害物の概念と環境への影響	遠藤, 小太郎
1141	学位論文	立位における姿勢制御特性の解析と制御能力の評価に関する研究	大西, 昇
1098	学位論文	水田土壌におけるメタンの生成とその後の動態に関する化学的・微	村瀬, 潤
1092	紀要	テオク構文とテアル構文の非対称性について	杉村, 泰
1066	学位論文	炭素質多孔体の製造と吸着操作への応用に関する研究	渡邊, 藤雄
1058	学位論文	セイヨウナシ果実の液胞膜タンパク質の発現と糖輸送	白武, 勝裕
1046	学術雑誌掲載論文	A mathematical model of noise	Katayama, Masaaki

※ 教材
(パスマ
インダー)
を除いた

博士学位論文の電子化状況

在籍教員から許諾をとり登録 → 317件

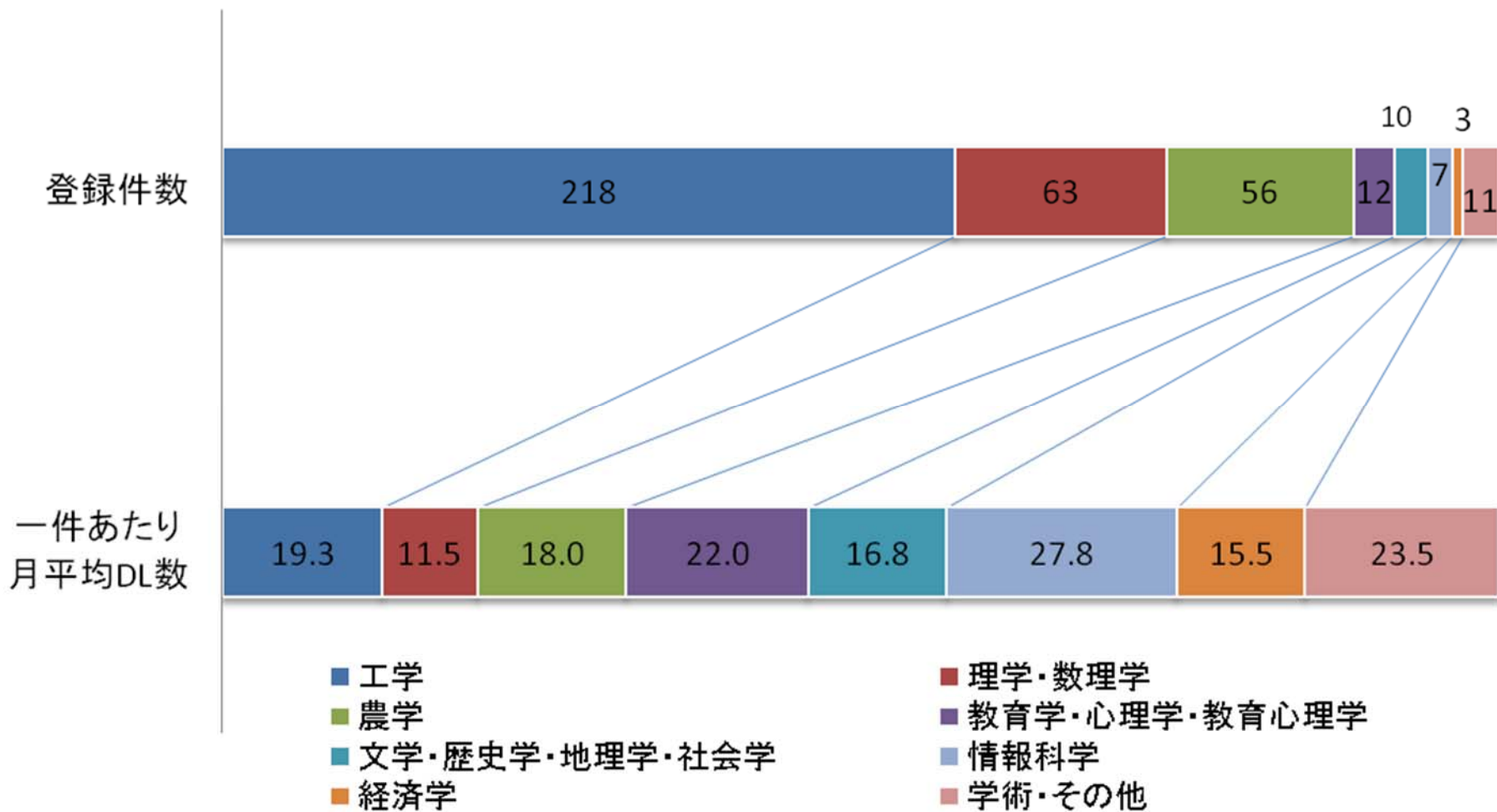
電子ファイルの提出を制度化 → 63件

2006年～ 工学研究科、情報科学研究科

2007年～ 環境学研究科、医学研究科(看護系)

この他、旧制博士論文1件を遺族の希望・許諾により登録

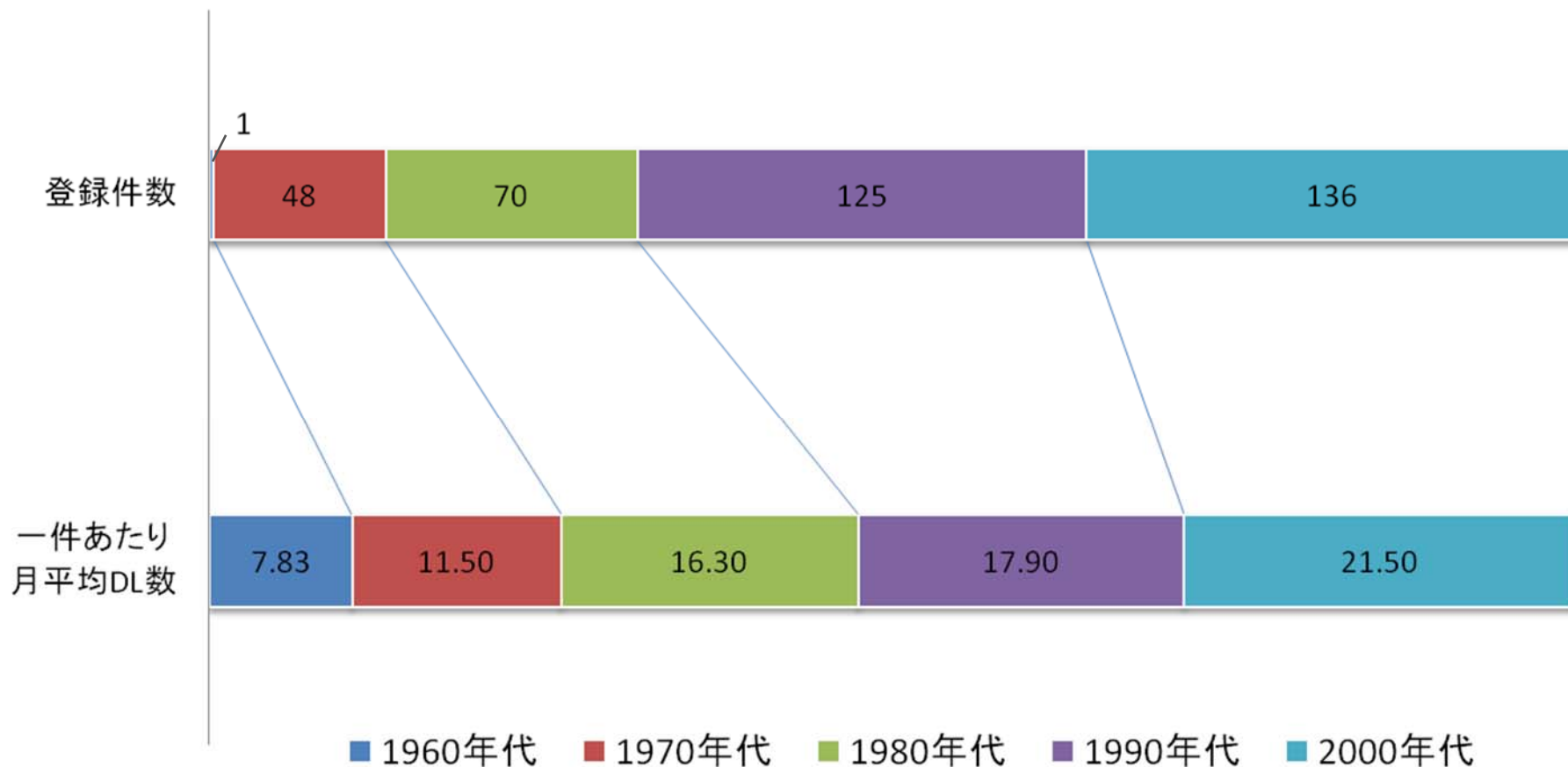
学位論文の利用状況(種類別)



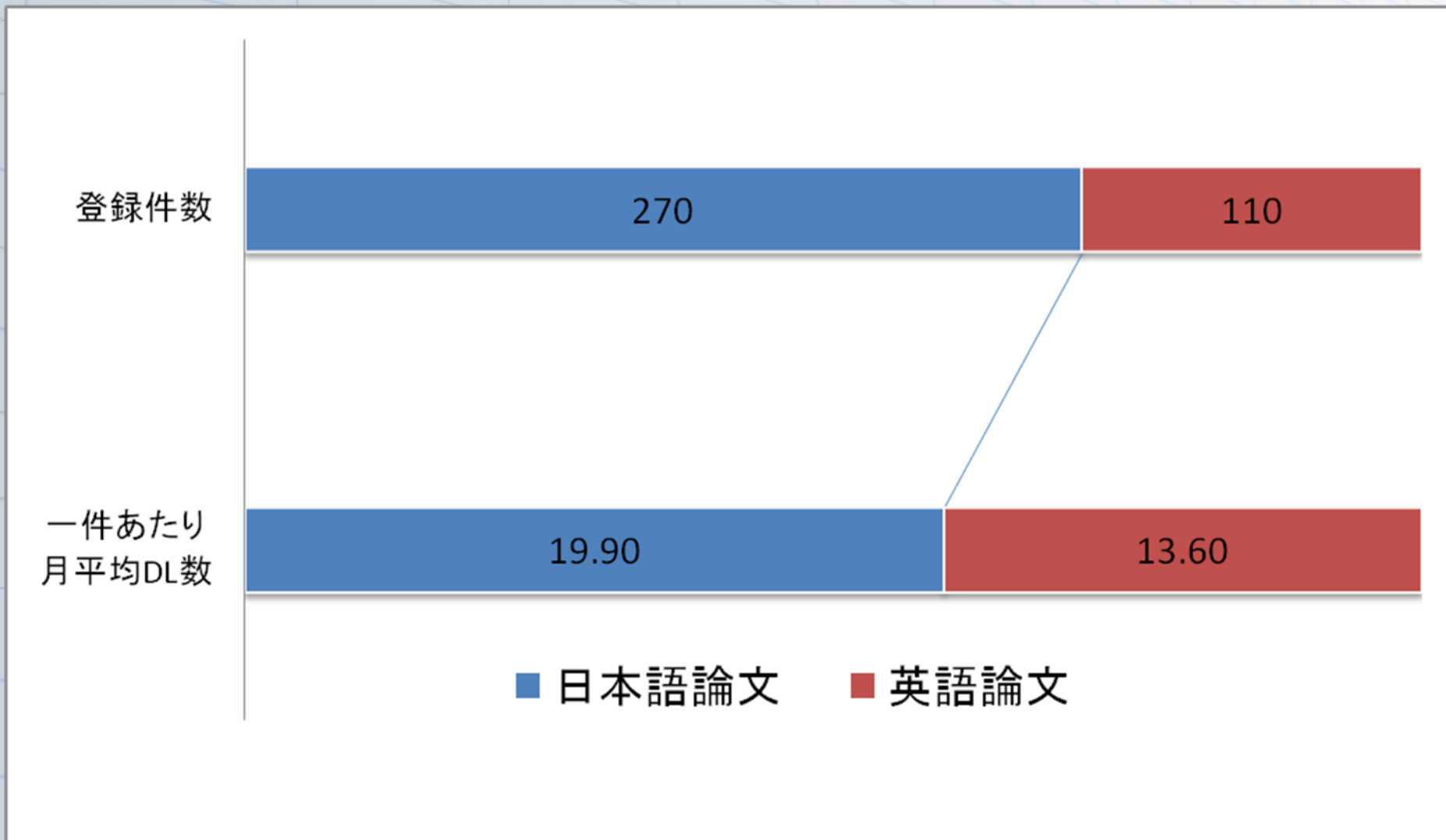
※ 学位論文の統計は、2006年2月～2008年4月のデータに基づく。

※ 月平均ダウンロード数は「各論文の累積ダウンロード回数÷公開月数」を集計した平均値

学位論文の利用状況(取得年代別)

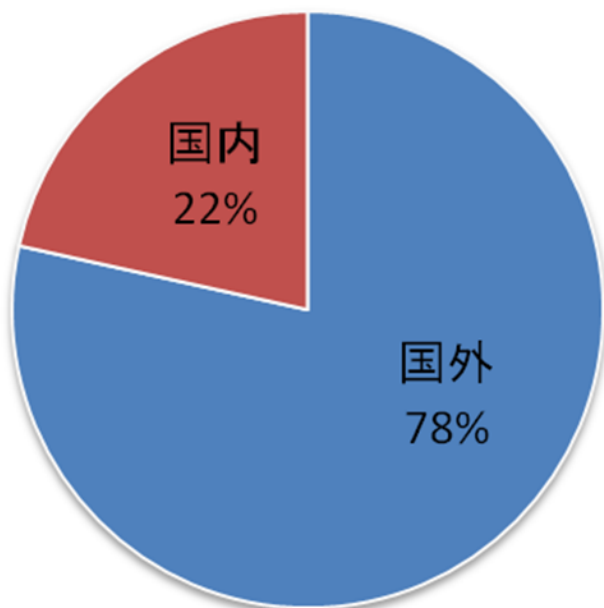


学位論文の利用状況(言語別)

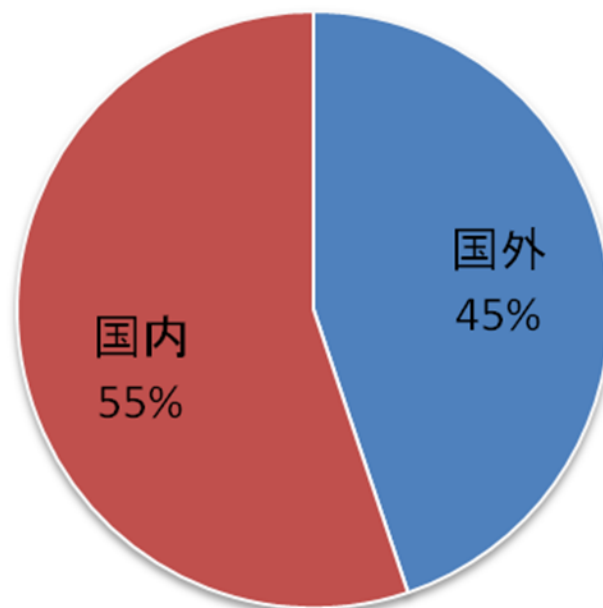


学位論文の訪問者の地域別割合

英語論文

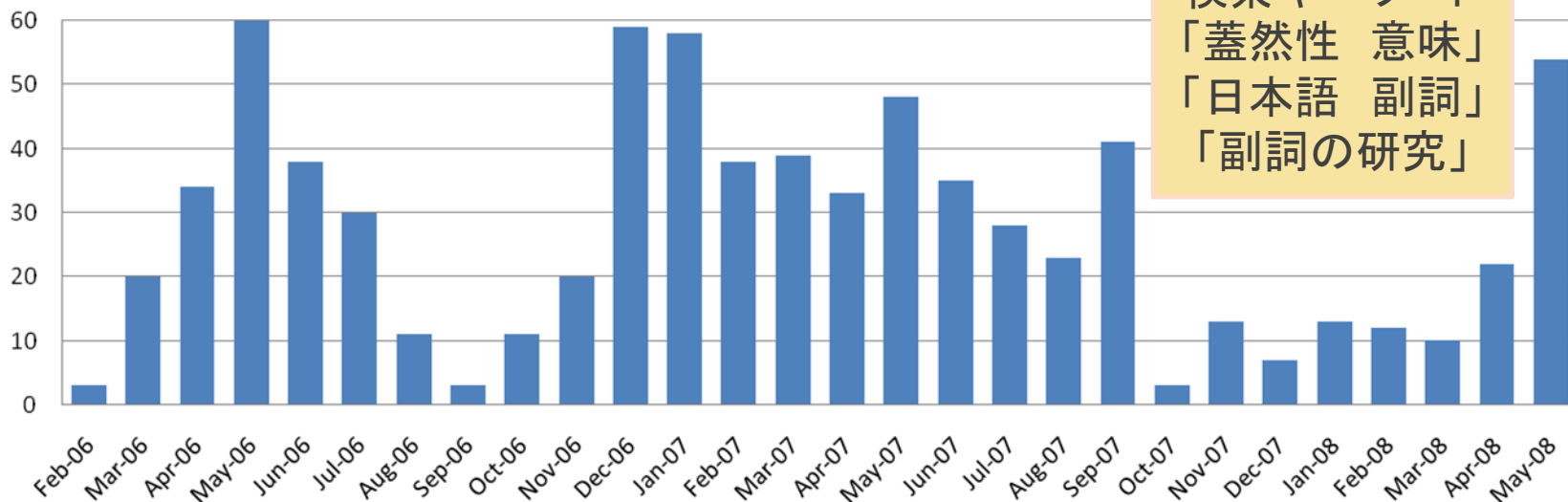


日本語論文

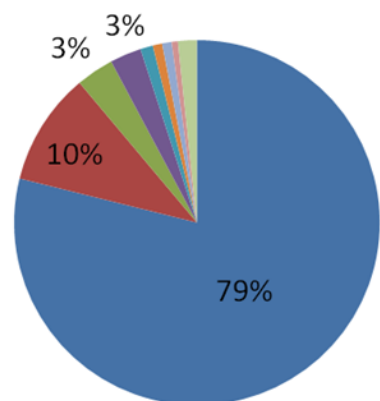


杉村泰「現代日本語における蓋然性を表す副詞の研究」 (名古屋大学博士学位論文 平成12年)

ダウンロード数の推移



検索キーワード
「蓋然性 意味」
「日本語 副詞」
「副詞の研究」



アクセスのあった国

- 日本
- 中国
- 台湾
- ベトナム
- イギリス
- トルコ
- アメリカ合衆国
- カナダ

「研究者が多い分野で、まだ本にはなっていないので、利用されるんでしょうね」
「中国は日本語研究が盛んですが、文献がなかなか入手できないんです」
「博士論文がインターネットでダウンロードできたら素晴らしいですね」

(杉村泰先生へのインタビューより)

まとめ

博士学位論文の利用状況

- 他の種類の論文に比べて、よく利用される。
- 海外からのアクセスも多い。(日本語論文に対しても)
- 20～30数年前の学位論文も利用されている。(理系でも)



利用状況を踏まえ、今後のコンテンツ収集へ